

# 行く道のしんどさを知る

～状況に沿った経路と経路に向かう心構えをするために～

芦田尚人(ウルシシステムズ)

足立祐一(ウルシシステムズ)

近藤繁延(ウルシシステムズ)

深谷勇次(ウルシシステムズ)

# 1. 背景

---

「経路を検討するにあたって、  
体調に基づいて移動方法がわかれば便利ではないか？」

「高齢者や障害者、病気やケガをしている人などにとっても、  
安全で安心して移動できるバリアフリーな経路は？」

地図、道路情報、テナント情報が組み合わせられることにより、上記のような各々の  
状況によって最適な経路表現が可能となる

移動を行う際、細かい経路は、必要なものの、方向感や直近の心構えを行うガイド  
があることで、移動する際の気持ちへのサポートを実現できる

# 1. 概要

- 現在地から目的に向かうにあたっての登り下りの情報と、身体状態を加味し、最適な経路を、“しんどさ”として数値化して表示する。
  - “しんどさ”による回避などの情報も得ることが可能である。
  - 今の場所から、どちらの方向、どういうところを進むと良いかといった基本的な情報をインタラクティブに通知することにより、どの経路がより現在の身体状態に最適かを知ることが可能となる。
- ・ 健康状態、天気、を考慮し、複数の経路から、経路選択が可能
  - ・ 経路は、高低差移動、階段の情報を加えて表示
  - ・ 現在の場所から、目的への方向、道路状態をリアルタイムに表示



## 2. 利用シーン（1）

### （1）目的地への移動を健康状態を考慮した移動を実現する

#### ◆ 【移動前】

- ✓ 目的地を指定する
- ✓ 健康状態を選ぶ
- ✓ 健康状態と天候を考慮した移動パターンを提示する
- ✓ 気分的な要素を含めて、パターンから移動を選択する

#### ◆ 【移動中】

- ✓ 現在の場所からの目的地への方向を確認する
- ✓ 近々の情報を確認しながら、道の状態に気持ちを備える

## 2. 使用するデータ

- 地図  
地図データ
- テナント情報  
目的における階段、テナント内移動のための位置情報
- 健康データ  
年齢、けがの有無
- 天気  
季節、天候
- 道路状況  
高低差、工事情報、バリアフリー、アーケード情報
- 経路内補足情報  
駅構内階段情報など、移動中の段差

### ■ データモデル

